

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 4 9 号	氏名	北崎 健
学位審査委員	主 査	朝長万左男	印
	副 査	進藤 裕幸	印
	副 査	永安 武	印
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、EGFR 阻害薬ゲフィニチブが多剤耐性腫瘍の P 糖蛋白の機能を阻害するという、これまでの著者らのグループの観察に基づき、その作用機序を解明しようとするもので妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 EGFR をもたないヒト肺小細胞癌細胞耐性株 (PC-6) を用い、ゲフィニチブが抗癌薬存在下の細胞増殖を有意に抑制するか、テトラゾリウム・アッセイ系により検討した方法は十分妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 ゲフィニチブは EGFR(-)耐性株の抗癌薬感受性を 50%以上改善させ、その作用は P 糖蛋白の機能抑制によることが示された。EGFR を介さない作用機序の存在は、この EGFR キナーゼ抑制薬の臨床的効果を理解する上で重要な観察である。</p>			
<p>以上のように本論文は新規分子標的薬ゲフィニチブの作用機序に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと